

2019年度

授 業 実 施 計 画

札幌歯科学院専門学校
歯科衛生士科

歯科衛生士科教育課程

分野 学院単位数		時間数	各学年単位数			総単位数
			1年	2年	3年	
基礎分野 単位 10	生 物 学	30	2			2
	化 学	30	2			2
	心 理 学	20		1		1
	倫 理 学	20		1		1
	言 語 学	30	2			2
	英 語	16	1			1
専門基礎 分野 単位 22	英 語	16	1			1
	人 体 の 構 造 と 機 能	24	1			1
	人 体 の 構 造 と 機 能	16	1			1
	生 物 学	30	2			2
	口 腔 組 織 ・ 発 生	16	1			1
	口 腔 解 剖 学	30	2			2
	口 腔 生 理 学	16	1			1
	歯 牙 解 剖 学	20	1			1
	病 理 学	32	2			2
	微 生 物 学	30	2			2
	薬 理 学	30	2			2
	専門分野 単位 54	保 健 生 態 学	30	2		
保 健 生 態 学		40	2			2
衛 生 統 計 学		16			1	1
衛 生 行 政 学		16			1	1
社 会 福 祉 学		16		1		1
歯 科 衛 生 士 概 論		16	1			1
医 療 倫 理 学		16			1	1
保 存 修 復 学		20	1			1
歯 内 療 法 学		20	1			1
歯 周 治 療 学		20		1		1
歯 科 補 綴 学		30	1			1
口 腔 外 科 学		30	1			1
歯 科 麻 酔 学	20		1		1	
小 児 歯 科 学	30	1			1	
歯 科 矯 正 学	30	1			1	
歯 科 予 防 処 置	130	4			4	
歯 科 予 防 処 置	44		1		1	
歯 科 予 防 処 置	44			1	1	
齲 蝕 予 防 処 置	20		1		1	
齲 蝕 予 防 処 置	40			1	1	
歯 科 保 健 指 導	90	2			2	
歯 科 保 健 指 導	44		1		1	
歯 科 保 健 指 導	2			1	1	
栄 養 指 導	42					
栄 養 指 導	30		1		1	
障 害 者 歯 科	20		1		1	
高 齢 者 歯 科	20		1		1	
歯 科 診 療 補 助	90	2			2	
歯 科 診 療 補 助	90		2		2	
歯 科 診 療 補 助	44			1	1	
歯 科 材 料 学	20	1			1	
歯 科 放 射 線	30	1			1	
臨 床 検 査 法	20			1	1	
イ ン プ ラ ン ト ワ ー ク	20				1	
臨 地 ・ 臨 床 実 習	900		9	11	20	
選択必修 単位 7	医 療 保 険 事 務	20			1	1
	マ ナ ー 検 定 (中 級)	20		1		1
	訪 問 歯 科	28		1		1
	歯 科 衛 生 士 業 務	76		1	1	2
歯 科 衛 生 士 業 務	60			2	2	
	科目合計	2700	43	27	23	93

【科目名】 人体の構造と機能

【年次・開講期】 1年次 前期

【時 間】 24時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学 歯学部 口腔構造・機能発育学系 組織学分野
教授 入江 一元

【授業概要】 歯科衛生士として必要な人体の基本構造を学ぶとともに、構造に基づいた機能の関連を把握し、歯科・医科の臨床を理解するための基礎知識を深める。

【到達目標】

- ・身体の区分・方向用語が正しく使える。
- ・脊柱の構成と全景の概要を説明できる。
- ・骨格筋の基本構造が分かる。
- ・消化管の基本構造を模式図を用いて説明できる。
- ・体循環、肺循環、門脈の概念が説明ができる。
- ・内分泌器官を列挙し、簡単な説明ができる。
- ・人体の組織構造を概説できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能1「解剖学・組織発生学・生理学」
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担当者
1	解剖学概説、骨格系	解剖学の意義と解剖学用語、骨格系概説	入江 一元
2	骨格系、筋系	体幹骨、上肢骨、下肢骨、筋系概説、体の各部位の筋	入江 一元
3	筋系	内臓学の概説、消化器系、呼吸器系	入江 一元
4	消化器系	消化管	入江 一元
5	消化器系・呼吸器系	消化腺、呼吸器系	入江 一元
6	脈管系	循環、心臓	入江 一元
7	脈管系・神経系	動脈系、静脈系、リンパ系、神経系の概要、中枢神経系	入江 一元
8	神経系	中枢神経系・末梢神経系	入江 一元
9	泌尿器系・生殖器系	泌尿器系、男性生殖器	入江 一元
10	生殖器系・感覚器系	女性生殖器、視覚器、平衡聴覚器	入江 一元
11	内分泌器系・組織学	内分泌器系、細胞	入江 一元
12	組織学・発生学	組織、染色体、受精、胚葉形成	入江 一元

【科目名】 口腔組織・発生

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学 歯学部 口腔構造・機能発育学系 組織学分野
助教 建部 廣明

【授業概要】 歯科衛生士として必要な歯および口腔諸器官の組織学および発生学を理解する。

【到達目標】

- ・歯と歯周組織の発生を概説できる。
- ・歯と歯周組織の構造を図説できる。
- ・鰓弓の形成を概説できる。
- ・顔面と口唇の形成が説明できる。
- ・口蓋と鼻腔の形成が説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯の形態、 歯と歯周組織の発生	歯と歯周組織	建部 廣明
2	歯と歯周組織の発生	歯と歯周組織	建部 廣明
3	歯および歯周組織の 構造と機能	歯と歯周組織	建部 廣明
4	歯および歯周組織の構造 と機能	歯と歯周組織の発生	建部 廣明
5	歯および歯周組織の構造 と機能	歯と歯周組織の発生	建部 廣明
6	顔面と口腔の発生	鰓弓の形成	建部 廣明
7	顔面と口腔の発生	顔面と口唇の形成	建部 廣明
8	顔面と口腔の発生	口蓋と鼻腔および舌と腺の形成	建部 廣明

【科目名】 口腔解剖学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 札幌医科大学医学部 口腔外科学講座
講師 荻 和弘

【授業概要】 口腔解剖学は口腔、口腔周辺および歯の形態と構造の特徴を知り、将来歯科医療を担う歯科衛生士としての基本的知識の習得を目的とする。

【到達目標】

- ・顔面および口腔の範囲を説明できる。
- ・固有口腔と口腔前庭にある名称を説明できる。
- ・唾液腺の位置と構造を説明できる。
- ・顔面及び口腔を構成する骨の名称を説明できる。
- ・頭頸部の筋の構成と機能を概説できる。
- ・咀嚼筋の構成と機能を説明できる。
- ・頭頸部の脈管を概説できる。
- ・頭頸部の神経を概説できる。
- ・三叉神経と顔面神経の走行と線維構成を概説できる。
- ・顎関節の構造と機能を概説できる。
- ・歯種別の形態と特徴を説明できる。
- ・永久歯と比較した乳歯の特徴が説明できる。
- ・歯列と咬合を概説できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	口腔付近の肉眼解剖学	口腔とは？ 口唇と頬, 口腔前庭, 固有口腔, 口峽, 舌, 咽頭	荻 和弘
2	唾液腺(口腔腺)の解剖学	唾液腺(口腔腺)	荻 和弘
3	頭頸部の骨学1	頭蓋骨(眼窩, 鼻腔, 副鼻腔, 頭蓋冠, 頭蓋底)	荻 和弘
4	頭頸部の骨学2	顔面骨(上顎骨, 下顎骨, 口蓋骨, 舌骨), 顎関節	荻 和弘
5	頭頸部の筋学	表情筋(口裂周囲の筋), 舌骨上筋(舌骨上筋群, 顎下三角とオトガイ下三角), 咀嚼筋(咬筋, 側頭筋, 内側翼突筋, 外側翼突筋)	荻 和弘
6	頭頸部の脈管学1	口腔付近に分布する動脈・静脈(総頸動脈, 外頸動脈, 内頸静脈, 頭頸部の動脈と静脈との差異)	荻 和弘
7	頭頸部の脈管学2	頭頸部のリンパ系(顎下リンパ節, オトガイ下リンパ節, 深頸リンパ節)	荻 和弘
8	頭頸部の神経学1	脳神経(三叉神経, 顔面神経)	荻 和弘

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
9	頭頸部の神経学2	脳神経(舌咽神経, 迷走神経, 舌下神経), 脊髄神経, 自律神経	荻 和弘
10	歯の解剖学1	歯の解剖学的用語(臨床で使用される歯の用語や方向)	荻 和弘
11	歯の解剖学2	永久歯の形態的特徴(中切歯・側切歯・犬歯)	荻 和弘
12	歯の解剖学3	永久歯の形態的特徴(小臼歯)	荻 和弘
13	歯の解剖学4	永久歯の形態的特徴(大臼歯)	荻 和弘
14	歯の解剖学5	乳歯の形態的特徴(乳歯, 永久歯との比較)	荻 和弘
15	歯の解剖学6	歯の配列と咬合、異常歯(数の異常、形態の異常、萌出時期・萌出位置の異常)	荻 和弘

【科目名】 歯牙解剖学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科技工士科
専任教員 亀田 知佳

【授業概要】 基礎的知識の再確認と各歯牙の特徴を学び、歯種の鑑別ができるようにする。
上顎中切歯の彫刻をして詳細な形態を学ぶ。

【到達目標】 ・歯および口腔について解剖学的見地について説明できる。
・歯の種類と名称を列挙できる。
・歯の形態を彫塑できる。
・歯の形態の特徴を理解し、歯型彫刻の技術を習得する。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」
全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 スケッチ25%、歯型彫刻25%、小テスト25%、鑑別試験の評価25%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯および歯周組織の構造と機能	歯牙解剖実習のための基礎的知識の復習 ・歯の組織・表示法・歯式について理解する。 ・歯の鑑別方法(三徴候)について理解する。 ・セメント-エナメル境の形について理解する。 ・咬合と下顎の運動について理解する。 テンポラリークラウン製作のためのアプローチ ・ポッセルトの図形、ゴシックアーチについて理解する。 ・何故、歯の形態を学ばなければならないかを理解する。	亀田 知佳
2	歯の形態 前歯の形態学的特徴 歯・口腔の構造と機能を理解するための実習	上下顎前歯の特徴について スケッチの方法と実際 上顎6前歯の唇側面のスケッチ 歯型彫刻のための上顎右側中切歯の5面観のスケッチ	亀田 知佳
3	歯の形態 小臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	上顎小臼歯の特徴について 上顎小臼歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ 上顎右側中切歯のステップカービング ・切り出しの使い方	亀田 知佳
4	歯の形態 大臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	上顎大臼歯の特徴について 上顎大臼歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ 上顎右側中切歯のステップカービング(枠取り)	亀田 知佳

回	授業項目	授業内容	
5	歯の形態 大臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	下顎小白歯の特徴について 上顎小白歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ 上顎右側中切歯のステップカービング(スケッチ) 上顎右側中切歯のステップカービング(近遠のカット)	亀田 知佳
6	歯の形態 大臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	下顎大臼歯の特徴について 下顎大臼歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ 上顎右側中切歯のステップカービング(唇舌のカット)	亀田 知佳
7	歯の形を理解する実習	上顎右側中切歯のステップカービング(咬合面のカット) 上顎右側中切歯のステップカービング(舌側面のカット) 上顎右側中切歯のステップカービング(多面体のカット)	亀田 知佳
8	歯の形を理解する実習	上顎右側中切歯のステップカービング(仕上げのカット) 上顎右側中切歯のステップカービング(完成)	亀田 知佳
9	歯の鑑別	歯の鑑別チャートを使ったグループ別鑑別 歯の鑑別模擬試験(5F実習室)	亀田 知佳
10	歯の鑑別	歯の鑑別試験(5F講堂) ・鑑別時間は1歯15秒での鑑別 ・学生の時計回り方式	亀田 知佳

【科目名】 病理学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 32時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学講座
准教授 東野 史裕
特任助教 松田 彩

【授業概要】 病気の原因、病気発生のしくみ、症状などについて学ぶのが病理学である。様々な病気について知ることは、それぞれの病気の治療法や予防法の意味を正しく理解するためにも重要である。前半は病気発生機序の基本を学び、後半は口腔領域に発生する病気について学習する。

【到達目標】

- ・内因、外因を概説できる。
- ・虚血、充血、うっ血の違いを説明できる。
- ・細胞、組織の変性、萎縮、壊死を概説できる。
- ・ネクローシスとアポトーシスの違いを説明できる。
- ・肥大、増生、化生、再生を概説できる。
- ・炎症の定義を説明できる。
- ・炎症を分類できる。
- ・腫瘍の定義を説明できる。
- ・良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。
- ・腫瘍を分類できる
- ・前がん病変を概説できる。
- ・歯の発育障害の種類と病態を概説できる。
- ・う蝕を組織学的に分類し、その特徴を説明できる。
- ・歯周疾患の病因と病態を説明できる。
- ・歯周疾患を分類しその特徴を概説できる。
- ・根尖性歯周炎を分類しその特徴を説明できる。
- ・歯髄疾患の病因と病態を説明できる。
- ・口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。
- ・口腔領域の嚢胞を概説できる。
- ・口腔領域の腫瘍を概説できる。
- ・唾液腺疾患を概説できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1「病理学・口腔病理学」
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 「イラストでわかる 歯科医学の基礎」 永末書店

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義・標本観察

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	病理学序論と病因論、遺伝性疾患と奇形	内因、外因、遺伝子の基礎、染色体異常、奇形	東野 史裕
2	循環障害	水腫、虚血、充血、うっ血、梗塞	東野 史裕
3	代謝障害と退行性病変	変性、萎縮、壊死、アポトーシス	東野 史裕

回	授業項目	授業内容	担当者
4	増殖と修復	肥大、増生、化生	東野 史裕
5	炎症	炎症性細胞、急性炎症、慢性炎症、転帰	東野 史裕
6	感染症	病原微生物、感染経路、日和見感染症	東野 史裕
7	免疫応答異常	免疫応答、アレルギー、自己免疫疾患	東野 史裕
8	腫瘍	悪性腫瘍、腫瘍発生機序、転移、疫学、分類	東野 史裕
9	歯の発育異常、歯の損傷と着色・附着物	歯の異常、着色、プラーク、歯石	東野 史裕
10	う蝕、象牙質・歯髄複合体の病変	齲蝕の病因、退行病変、象牙質知覚過敏、歯髄炎	東野 史裕
11	歯周組織の病態	急性・慢性根尖性歯周炎、歯周炎、エプーリス	東野 史裕
12	口腔粘膜の病変、口腔領域の嚢胞と腫瘍	口腔・舌の発育異常、粘膜上皮の疾患、口腔癌	東野 史裕
13	口腔癌、顎骨の病変、唾液腺の病変 口腔領域の奇形、口腔組織の加齢変化	歯原性・非歯原性嚢胞、顎関節炎、シェーグレン症候群	東野 史裕
14	光学顕微鏡による標本の観察・スケッチ	切片標本：齲蝕・歯周炎 組織標本：根尖性歯周炎・辺縁性歯周炎・エプーリス 実体顕微鏡による歯牙標本の観察	松田 彩
15	光学顕微鏡による標本の観察・スケッチ	組織標本：エナメル上皮種・唾液腺腫瘍・扁平上皮癌 実体顕微鏡による歯牙標本の観察	松田 彩

【科目名】 微生物学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院
名誉教授 柴田 健一郎

【授業概要】 まず、微生物の種類と構造ならびに感染様式を理解し、次に、生体がどの様に微生物を認識、排除しているかという免疫機構も理解する。さらに、これらの知識をもとにどのようにして感染を防ぐかという滅菌と消毒、さらには感染を治療する化学療法についても理解する。

【到達目標】

- ・微生物の種類と一般的性状を説明できる。
- ・感染と発症を説明できる。
- ・微生物の感染機構と病原性を概説できる。
- ・宿主の抵抗性を概説できる。
- ・自然免疫と獲得免疫を説明できる。
- ・液性免疫と体液性免疫を説明できる。
- ・抗原、抗体およびサイトカインを説明できる。
- ・口腔常在微生物を概説できる。
- ・デンタルプラークの形成とその微生物叢を概説できる。
- ・う蝕原因菌を概説できる。
- ・歯周病原菌を概説できる。
- ・微生物が原因で口腔に症状を表す疾患を概説できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2「微生物学」
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 講義ごとの復習小テスト10%、中間試験45%、定期試験(前期)45%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	微生物学の発達と歴史	アンソニー・フォン・レーベンフック、ロバート・コッホ、パスツールらの病原微生物学への貢献ならびにミラーの口腔微生物学への貢献などについて	柴田 健一郎
2	微生物の一般的性状	細菌, リケッチア, クラミジア, 真菌, 原虫, ウイルス, プリオン	柴田 健一郎
3	培養方法と観察方法	微生物の分類, 記載方法, 培養方法と顕微鏡による観察方法	柴田 健一郎
4	感染と発症 Ⅰ	微生物の病原性と宿主の自然免疫(補体, Toll様受容体)	柴田 健一郎
5	感染と発症 Ⅱ	感染症の種類, 感染源, 感染経路	柴田 健一郎
6	免疫 Ⅰ	免疫とは, 自然免疫と獲得免疫	柴田 健一郎
7	免疫 Ⅱ	抗原提示, 液性免疫, 体液性免疫	柴田 健一郎
8	免疫 Ⅲ	アレルギー, 粘膜免疫	柴田 健一郎

回	授業項目	授業内容	担当者
9	微生物各論	A群連鎖球菌, 黄色ブドウ球菌, 腸内細菌, インフルエンザウイルス, エイズウイルス	柴田 健一郎
10	化学療法, 滅菌と消毒	種々の化学療法剤, 選択毒性, 薬剤耐性, 滅菌と消毒の定義, それらの方法	柴田 健一郎
11	口腔内常在微生物	口腔常在細菌叢, 唾液, デンタルプラーク(バイオフィルム)の形成	柴田 健一郎
12	う蝕	ミュータンス連鎖球菌, う蝕原性, 歯髄炎	柴田 健一郎
13	歯周病	歯肉炎, 急性壊死性歯肉炎, 慢性歯周炎, 破壊性歯周炎ならびにそれらの病原体と病原因子	柴田 健一郎
14	その他の口腔感染症	口腔カンジダ症, 顎放線菌症, 手足口病, ヘルパンギーナ	柴田 健一郎
15	歯科診療上留意すべきウイルス感染症	B及びC型肝炎, エイズ, T細胞白血病, ヘルペスウイルス感染	柴田 健一郎

【科目名】 薬理学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院
名誉教授 鈴木 邦明

【授業概要】 歯科衛生士は歯科臨床の場において多くの薬物に関わるので、薬物から最大の効果を引き出し、安全に使用するための知識を身につける必要があります。近年は、高齢化に伴い歯科以外の疾患をもち、多くの薬物を投与されている患者が受診する機会も増えています。それらの薬が歯科治療に与える影響、歯科治療に使用する薬との相互作用に関する知識も必要であり、薬物全般に関して学ぶ必要があります。これらの知識は服薬指導を行う上での基礎としても大切です。

【到達目標】

- ・薬理作用の基本形式と分類を説明できる。
- ・薬物の作用機序を説明できる。
- ・薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。
- ・薬物の併用を説明できる。
- ・薬物の連用の影響を説明できる。
- ・医薬品の分類とそれぞれの表示および保管方法を説明できる。
- ・主な抹消神経作用薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な中枢神経作用薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な循環器系に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な呼吸器系に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な消化器系に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な抗炎症薬、解熱鎮痛薬、消炎酵素薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な局所麻酔薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な抗感染症薬と消毒薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・う蝕の予防に用いる薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・歯内療法に用いる薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・歯周治療に用いる薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3「薬理学」第2版
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 必要に応じて配布するプリント
現代歯科薬理学第6版 医歯薬出版

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	総論(1):薬物の作用	薬物療法の種類、薬理作用の様式、基本形式、分類、用量反応関係と薬用量の用語、薬理作用の機序	鈴木 邦明

回	授業項目	授業内容	担当者
2	総論(2):薬物動態	生体膜通過様式, 吸収, 分布, 代謝, 排泄, 生物学的半減期	鈴木 邦明
3	総論(3):薬物の適用方法の種類と特徴, 薬物の作用に影響を与える要因	薬物の適用方法の種類, 血中濃度の推移, 生物学的利用能, 薬効に影響する因子, 薬物の連用, 併用, 相互作用	鈴木 邦明
4	総論(4):薬物の副作用, 有害作用, 医薬品を適用する際の注意	薬物の有害作用の分類と原因, 一般的副作用, 歯科領域における副作用, 副作用・有害作用の予知と回避	鈴木 邦明
5	総論(5):薬物の取り扱い, 薬物と法律・薬物と医薬品	医薬品の剤形, 処方せん, 配合変化, 薬物の保存方法, 医薬品医療機器法, 日本薬局方, 毒薬・劇薬の表示と保管, 麻薬及び向精神薬取締法, 覚せい剤取締法	鈴木 邦明
6	各論(1):ビタミンとホルモン, 末梢神経系に作用する薬物(1)	ビタミン, ホルモン, アドレナリン受容体, アセチルコリン受容体, 交感神経と副交感神経の働きと神経伝達物質, 交感神経作動薬と遮断薬	鈴木 邦明
7	各論(2):末梢神経系に作用する薬物(2), 中枢神経系に作用する薬物(1)	副交感神経作動薬と遮断薬, 全身麻酔薬, アルコール類, 催眠薬・抗不安薬, 抗てんかん薬	鈴木 邦明
8	各論(3):中枢神経系に作用する薬物(2), 循環器系に作用する薬物	向精神薬, 中枢神経興奮薬, パーキンソン病治療薬, アルツハイマー病治療薬, 高血圧治療薬, 不整脈治療薬, 心不全治療薬, 狭心症治療薬, 脂質異常症治療薬	鈴木 邦明
9	各論(4):腎臓に作用する薬物, 呼吸器系に作用する薬物, 消化器系に作用する薬物, 血液に作用する薬物	腎臓の機能と構造, 主な利尿薬と作用機序, 気管支喘息治療薬, 鎮咳薬, 去痰薬, 消化性潰瘍治療薬, 鎮痙薬, 止血機構, 止血薬, 抗血栓薬, 抗貧血薬	鈴木 邦明
10	各論(5):免疫と薬, 悪性腫瘍と薬, 代謝性疾患治療薬, 炎症と薬(1)	免疫増強薬, 免疫抑制薬, 抗アレルギー薬, 悪性腫瘍とは, 抗悪性腫瘍薬, 糖尿病治療薬, 骨粗鬆症治療薬, アラキドン酸カスケード, 炎症のケミカルメディエーター	鈴木 邦明
11	各論(6):炎症と薬(2), 痛みと薬, 局所麻酔薬(1)	ステロイド性抗炎症薬, 非ステロイド性抗炎症薬, 解熱鎮痛薬, 痛覚の発生と伝導, オピオイド系鎮痛薬, 非オピオイド系鎮痛薬, 局所麻酔薬の作用機構, 血管収縮薬の併用	鈴木 邦明
12	各論(7):局所麻酔薬(2), 抗感染症薬(1)	局所麻酔薬の分類と化学構造, 適用法, 感染症と抗感染症薬, 抗感染症薬の作用機序と副作用, -ラクタム系抗菌薬	鈴木 邦明
13	各論(8):抗感染症薬(2), 消毒に使用する薬(1)	マクロライド系抗菌薬, テトラサイクリン系抗菌薬, ニューキノロン系抗菌薬, 消毒薬の作用機序, 消毒薬の分類, 酸化剤, ハロゲン化合物, アルコール類, アルデヒド類	鈴木 邦明
14	各論(9):消毒に使用する薬(2), う蝕予防薬, 歯内療法薬(1)	フェノール類, 界面活性剤, HBVおよびHIVに対する消毒薬, フッ化物の臨床応用, 歯髄の保存に用いる薬物, 根管治療に用いる薬物	鈴木 邦明
15	各論(10):歯内療法薬(2), 歯周疾患治療薬, 顎・口腔粘膜疾患と薬, 漢方医学と薬物	象牙質知覚過敏症に用いる薬物, 歯周疾患治療薬, 洗口薬, 口臭治療に用いる薬物, 炎症性疾患, 口腔粘膜疾患, 顎関節症, 口腔乾燥症, 神経疾患に用いる薬物, 漢方医学とは, 漢方薬とは	鈴木 邦明

【科目名】 保健生態学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 保健衛生学分野
講師 水谷 博幸

【授業概要】 衛生・公衆衛生学は、人間の健康問題を様々な要因の相互関係から考えていくと同時に、高校までの知識を身に付けているかを確認できる科目である。自分たちのおかれている地球・国・地域・集団における衛生・保健に関係する要因を正確に把握し、それを解析することのできる能力が必要となってくる。本教科ではこの力を養うために、自分の周囲の環境、疾病の予防方法、さらには地域・国家における保健機構について学習する。

【到達目標】

- ・健康の定義と国民の権利を説明できる。
- ・第一次予防、第二次予防、第三次予防を説明できる。
- ・疾病や異常の発生要因(因子)を列挙できる。
- ・疫学研究の方法を概説できる。
- ・わが国と世界における人口の現状と推移を概説できる。
- ・人口の高齢化を概説できる。
- ・健康と環境の関係を説明できる。
- ・地球環境の変化とその対応を説明できる。
- ・感染症の概念と感染成立の三要因を説明できる。
- ・感染症の動向とその対策を説明できる。
- ・食中毒の分類と特徴を説明できる。
- ・食品の安全確保のための方策を列挙できる。
- ・地域保健活動を担う組織の仕組みと特徴を概説できる。
- ・地域保健活動の基本的な進め方を概説できる。
- ・わが国の母子保健の概略を説明できる。
- ・学校保健機構を概説できる。
- ・生活習慣病のリスクファクターを列挙できる。
- ・産業保健の目的を説明できる。
- ・トータルヘルスプロモーション(THP)を説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「保健生態学」第3版

全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	<総論> 1.衛生・公衆衛生の定義 2.健康の概念 3.予防医学の考え方	・衛生・公衆衛生学の概念並びにその範囲を理解する。 ・「健康」という意味を理解する。 ・プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションについて学ぶ。	水谷 博幸

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
2	<疫学> 1.疫学概念 2.疫学要因 3.疫学実際	・疫学という研究方法を理解する。 ・健康障害因子を理解する。 ・疫学研究の方法論を学ぶ。	水谷 博幸
3	<人口> 1.人口静態統計 2.人口動態統計 3.生命表	・国家の基本となる人口ならびに人口構成を理解する。 ・少子・高齢化によってどのような社会変化をきたしてきたかを理解する。 ・わが国と諸外国との人口統計を比較する。	水谷 博幸
4	<健康と環境> 1.健康と環境 2.温熱環境 3.空気 4.放射線(光線・電磁波) 5.日本の気候 6.水の衛生	・生活環境を理解する。 ・生命維持に必要な空気・水などの衛生がどのように守られているかを知る。 ・有害環境因子はどのようなものであるかを知る。 ・公害の種類を知り、わが国の歴史的公害事件を学ぶ。 ・地球環境の保全について学ぶ。	水谷 博幸
5	<感染症> 1.感染症 2.感染症の予防 3.急性・慢性疾患の予防 4.主要な感染症	・感染の定義について学ぶ。 ・感染症の要因を知り、その予防法について学ぶ。 ・主な感染症の動向を知り、対策を理解する。	水谷 博幸
6	<食品と健康> 1.国民栄養所要量 2.食中毒 3.食品添加物	・国民健康・栄養調査について学ぶ。 ・食中毒の原因別分類、発生頻度などを十分に理解する。 ・食品添加物の種類と機能について学ぶ。	水谷 博幸
7	<地域保健> 1.地域保健活動 2.地域保健問題 3.地域保健計画	・保健所と保健センターについて学ぶ。 ・保健所の業務について学ぶ。	水谷 博幸
8	<母子保健> 1.母子保健法 2.母子保健統計	・母子保健に用いられる用語の定義を学ぶ。 ・妊産婦や乳幼児の保健について学ぶ。	水谷 博幸
9	<学校保健> 1.学校保健機構 2.学校保健教育 3.学校保健管理	・学校保健機構について学ぶ。 ・学校保健の健康診断について学ぶ。 ・学校三師の役割を学ぶ。	水谷 博幸
10	<成人・高齢者保健> 1.フレイル 2.ロコモティブシンドローム	・日本の現状および未来を考える。 ・言葉の意味を学ぶ。	水谷 博幸
11	<産業保健> 1.労働環境と健康 2.労働衛生の三管理	・事業所における従業員の保健管理を知る。 ・THP(トータルヘルスプロモーション)について学ぶ。	水谷 博幸

【科目名】 保健生態学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 40時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野
助教 竹原 順次

【授業概要】 口腔の健康を保持・増進し、歯科疾患を予防するための基本的知識を習得、その中における歯科衛生士の役割を理解する。また、公衆歯科衛生活動の中における歯科衛生士の役割を理解する。

【到達目標】

- ・口腔の健康の定義を説明できる。
- ・歯・口腔の機能を説明できる。
- ・歯・口腔の付着物と沈着物を説明できる。
- ・口腔清掃の意義を説明できる。
- ・う蝕の疫学的特徴を概説できる。
- ・う蝕発病のメカニズムを説明できる。
- ・う蝕発病要因を説明できる。
- ・フッ化物応用によりう蝕予防法を列挙できる。
- ・歯周疾患の種類が説明できる。
- ・歯周疾患の全身に与える影響が分かる。
- ・妊産婦への歯科保健指導の要点を説明できる。
- ・学校保健の対象者を列挙し、意義を説明できる。
- ・学校歯科健康診断のCOとGOの事後措置を説明できる。
- ・成人期の口腔保健管理を説明できる。
- ・高齢者の歯科保健の特徴を列挙できる。
- ・口腔内における職業性疾患とそれに対する特殊健康診断を説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「保健生態学」第3版

全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	総論 歯・口腔の健康と予防 歯・口腔の健康 歯・口腔の発生と成長・発育	・健康の定義/口腔の健康の定義/予防の3相と5段階 ・ハイリスクストラテジートポピュレーションストラテジー ・歯と口腔の構造/歯の種類と構造/口腔粘膜/唾液腺の種類と作用 ・歯と口腔の発生と成長発育 ・歯の発生と萌出時期	竹原 順次
2	歯・口腔の発生と成長・発育 歯・口腔の機能 歯・口腔の健康と全身の健康 歯・口腔の付着物・沈着物	・顎骨の成長発育/歯・口腔の形成に関連する栄養素/歯数、形態、色調、萌出の異常 ・咀嚼、嚥下、味覚、発音 ・歯科疾患と全身の健康、全身疾患と口腔の健康 ・ペリクル/プラーク	竹原 順次

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
3	歯・口腔の付着物・沈着物 口腔清掃	・マテリアルバ/歯石/舌苔/外来性色素沈着 ・口腔清掃の意義 ・口腔清掃法 ・人工的清掃法の分類と用具/各種ブラッシング法/補助清掃用具/染出し剤/ブラッシングの有害性/歯磨き剤と洗口剤	竹原 順次
4	う蝕の予防 歯科疾患の疫学	・う蝕発生のメカニズム ・う蝕病院論の変遷/う蝕の発生要因/う蝕活動性試験/う蝕の予防法 ・う蝕の疫学/疫学的特徴とわが国の現状	竹原 順次
5	フッ化物による齲蝕予防	・フッ化物に関する基礎知識 ・フッ素の代謝 ・フッ化物の毒性 ・フッ化物の齲蝕予防メカニズム ・フッ化物応用による齲蝕予防/全身応用・局所応用	竹原 順次
6	歯周疾患の予防 歯科疾患の疫学 その他の疾患・異常の予防	・歯周疾患の症状と分類/歯周疾患の発生機序/歯周疾患の全身に与える影響/歯周疾患の予防手段と処置 ・歯周疾患の疫学 ・口内炎/口腔癌/不正咬合/顎関節症/歯の形成不全/口臭症/口腔乾燥症	竹原 順次
7	地域保健・公衆衛生 精神保健 国際保健	・地域社会と地域保健の概念 ・地域保健の組織 ・地域保健の新たな概念 ・国際協力の仕組み/実施機関/国際保健戦略	竹原 順次
8	ライフステージごとの口腔 保健管理1 ・母子保健	・母子保健の目的及び概要 ・母子保健 ・小児保健 ・歯/口腔について ・母子保健の現状と今後	竹原 順次
9	ライフステージごとの口腔 保健管理2 ・小児期の口腔保健 ・学校保健	・学齢期、思春期の歯科保健 ・学校保健の意義と特徴 ・学校保健の活動と組織 ・学校歯科保健	竹原 順次
10	ライフステージごとの口腔 保健管理3 ・成人期/老年期の口腔保 健 ・成人保健 ・老人(高齢者)保健	・成人期、老年期の歯科保健 ・成人保健の意義 ・成人保健対策 ・老人保健の意義/老人保健のための組織と関係法規 ・産業保健の概念/職業性疾病/産業保健管理/産業保健活動	竹原 順次

【科目名】 衛生行政

【年次・開講期】 3年次 前期

【時 間】 16時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 総務部長 中尾 忠篤

【授業概要】 歯科衛生士としての身分や業務について、さらに関連のある歯科医師や歯科技工士等と共同して歯科保健医療の普及と向上のために必要な知識を備える。

【到達目標】

- ・歯科衛生士資格の成り立ちと目的を説明できる。
- ・歯科衛生士法・歯科医師法。歯科技工士法に規定されている義務・責務を説明できる。
- ・歯科口腔保健推進に関する法律が説明できる。
- ・医療法の成り立ちと目的と遵守事項について説明できる。
- ・その他関係法規を列挙し、理解できる。
- ・社会保障制度についての種類の理解ができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「歯科衛生士と法律・制度」第3版
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担当者
1	歯科衛生士と法律その1	・衛生行政の目的と組織 ・歯科衛生士法の成り立ち	中尾 忠篤
2	歯科衛生士と法律その2	・歯科衛生士法 ・歯科医師法 ・歯科技工士法	中尾 忠篤
3	歯科衛生士と法律その3	・歯科口腔保健推進に関する法律 ・医療法	中尾 忠篤
4	医療関係職種	・医療関係職種 ・歯科医療従事者とその法律	中尾 忠篤
5	その他の関係法規	・薬事に関する法規 ・地域保健に関連する法規 ・食品衛生法や感染症の概要	中尾 忠篤
6	社会保障	・社会保障の種類、特徴、法律 ・介護保険制度の仕組み ・歯科衛生士に関係する社会福祉	中尾 忠篤
7	医療の動向 その他	・医療の動向 ・国民の受療状況 ・歯科医療従事者数の推移 ・国民医療費の範囲と動向	中尾 忠篤
8	まとめと試験問題	・重点項目の復習 ・問題解説	中尾 忠篤

【科目名】 歯科衛生士概論

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科長 江上 史倫
札幌歯科学院専門学校 専任教員 五十嵐 麻子

【授業概要】 歯科衛生士の仕事を有効に展開するために、必要な態度・姿勢と専門知識や技能の全体像を学ぶ。

【到達目標】

- ・歯科衛生と健康とのかかわりを説明できる。
- ・歯科衛生士の誕生と歯科衛生業務の歴史について理解する。
- ・予防の概念を理解できる。
- ・歯科衛生業務において、歯科衛生過程を活用する意義を知ることができる。
- ・歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務について概説できる。
- ・歯科衛生士と倫理について説明ができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科衛生士学総論」
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	1章 歯科衛生学とは	・衛生について ・歯科衛生と健康	五十嵐 麻子
2	2章 歯科衛生士の歴史	・歯科衛生士の歴史 ・歯科衛生業の発展 ・歯科衛生士の育成教育	五十嵐 麻子
3	3章 歯科衛生活動のための理論	・予防の概念 ・歯科衛生の考え方～クリティカル思考～	五十嵐 麻子
4	7章 歯科衛生士の活動と組織	・歯科衛生士の動向 ・歯科衛生活動の就業先 ・歯科衛生活動の現場	五十嵐 麻子
5	4章 歯科衛生過程	・歯科衛生過程とは ・歯科衛生過程の利点 ・歯科衛生過程の流れ	五十嵐 麻子
6	5章 歯科衛生士法と歯科衛生士業務	・業務独占と名称独占 ・歯科衛生士の資格と免許 ・歯科衛生士の役割	江上 史倫
7	6章 歯科衛生士と医療倫理	・安全管理 スタンダードプリコーション ・インフォームドコンセント	江上 史倫
8	7章 歯科衛生士の活動と組織	・歯科衛生士の組織 ・海外における歯科衛生士	江上 史倫

【科目名】 保存修復学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 歯科保存教室
助教 星加 修平

【授業概要】 保存修復は、日常の歯科診療の中で最も頻度が高く、根幹的な部分であるため、歯の硬組織疾患並ならびに、保存修復法の種類・原則・術式などについての理解を目的とする。

【到達目標】

- ・歯を保存する重要性を理解できる。
- ・保存修復学で扱う疾患を理解できる。
- ・歯の修復に用いる器材を説明できる。
- ・コンポジットレジン修復の特徴と手順を理解できる。
- ・グラスアイオノマーセメント修復の特徴と手順を理解できる。
- ・間接法修復の種類を列挙できる。
- ・保存修復における歯科衛生士の役割について理解できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	保存修復学概論	・歯の保存療法の歯科における位置づけ ・歯を保存する目的・種類・手順・適応および禁忌	星加 修平
2	硬組織疾患(う蝕を除く)	・歯の外傷と損傷	星加 修平
3	硬組織疾患(う蝕)	・う蝕の病院と病態 ・エナメル質う蝕 ・象牙質う蝕 ・う蝕の分類・好発部位	星加 修平
4	窩洞	・窩洞の分類(ブラックの分類など) ・窩洞形態の5条件 ・接着性窩洞と非接着性窩洞	星加 修平
5	診査および切削器具・器械	・保存修復治療の一連の流れ ・回転切削器具 ・前準備(防湿・歯間分離・歯肉圧排・隔壁法)	星加 修平
6	コンポジットレジン修復	・コンポジットレジンの組成・種類・適応 ・接着システム ・コンポジットレジン修復の手順	星加 修平

回	授 業 項 目	授 業 内 容	
7	ガラスイオノマー セメント修復	・ガラスイオノマーセメント修復の手順	星加 修平
8	歯科用セメント	・暫間修復(仮封・仮着)用セメント ・合着用セメント	星加 修平
9	間接法修復	・窩洞形成概略 ・印象採得 ・咬合採得 ・模型調整 ・ワックスアップ ・埋没・鑄造・合着	星加 修平
10	その他の修復法	・ラミネートベニア修復 ・CAD/CAMシステム ・歯の漂白法	星加 修平

【科目名】 歯内療法学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学病院 総合歯科診療科
講師 塚越 慎

【授業概要】 歯内療法学は、歯の内部にある歯髄ならびに歯髄疾患に継発する根尖部歯周組織の疾患の病態、診断および治療法を理解し修得する。

【到達目標】

- ・歯内療法学の目的が説明できる。
- ・歯髄疾患の分類と症状の列挙ができる。
- ・歯髄保存療法の概略と使用薬剤の説明ができる。
- ・歯髄除去療法の種類と適応症の理解ができる。
- ・根管治療の概念を理解する。
- ・根管充填法の目的が説明できる。
- ・根管充填法の種類と術式、特徴が理解できる。
- ・外科的歯内療法の種類と目的が理解できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯内療法の概要	・歯内療法学の意義と内容 ・歯内療法学の目的 ・歯髄炎の原因	塚越 慎
2	歯髄および根尖歯周組織疾患治療基本的考え方1	・歯髄および根尖歯周組織の構造と機能と特徴 ・歯髄および根尖歯周組織の疾患の病態と診断 ・歯髄疾患とその分類、根尖歯周疾患とその分類	塚越 慎
3	歯髄および根尖歯周組織疾患治療基本的考え方2	・歯髄疾患および根尖歯周疾患の治療の基本的考え方 ・歯科衛生士と歯内療法	塚越 慎
4	歯髄の保存療法1	・歯髄鎮静療法 ・歯髄鎮静療消炎薬	塚越 慎
5	歯髄の保存療法2	・間接歯髄覆髄法 ・直接歯髄覆髄法 ・暫間的間接覆髄法	塚越 慎
6	歯髄の除去療法1	・生活断髄法 ・生活断髄法の適応症 ・生活断髄法の術式・使用器具	塚越 慎

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
7	歯髄の除去療法2	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔抜髄法 ・麻酔抜髄法の適応症 ・麻酔抜髄法の術式・使用器具 	塚越 慎
8	感染根管治療	<ul style="list-style-type: none"> ・根尖歯周疾患の治療の術式および使用器具 	塚越 慎
9	根管充填	<ul style="list-style-type: none"> ・根管充填の考え方 ・根管充填の時期の判定 ・根管充填の術式および使用する器具 	塚越 慎
10	その他の治療法 歯内療法における偶発症	<ul style="list-style-type: none"> ・外科的歯内療法 	塚越 慎

【科目名】 歯周治療学

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野
名誉教授 川浪 雅光

【授業概要】 歯周治療学の基礎知識と臨床、歯科衛生業務について学ぶ。

【到達目標】

- ・正常な歯周組織の構造、各部の名称、組織学と機能について理解できる。
- ・歯肉炎、歯周炎との違いと初発因子修飾因子について理解できる。
- ・歯周予防法と治療の進め方について基本的な考え方を説明することができる。
- ・歯周病の診査診断について判定方法の理解ができる。
- ・歯周基本治療の目的、内容、治療方法と歯科衛生士の役割の理解ができる。
- ・歯周外科治療の目的と分類、治療用器材器具の名称、用途の説明ができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「歯周病学」第2版
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯周治療とは 歯周組織の構造と機能	歯周疾患の現状と治療、歴史、歯科衛生業務と歯周治療 正常な歯周組織の構造、機能	川浪雅光
2	歯周疾患の分類 病態、原因 歯周医学	歯肉炎、歯周炎、初発因子、修飾因子(全身、局所) 歯周病と全身の疾患とのかかわり	川浪雅光
3	歯周治療の進め方	歯周疾患の予防と治療の基本 歯周治療の進め方	川浪雅光
4	歯周疾患の診査	一般診査、歯周組織検査、咬合の診査 エックス線写真検査、口腔内写真検査	川浪雅光
5	歯周基本治療1 歯周基本治療2	基本治療の目的 モチベーション、患者教育	川浪雅光
6	歯周基本治療3 歯周基本治療4	口腔清掃指導(ブラッシング) 口腔清掃指導(補助的清掃、マウスリンス)	川浪雅光
7	歯周基本治療5 歯周基本治療6	スケーリング・ルートプレーニング 歯周ポケット搔爬	川浪雅光
8	歯周外科治療1 歯周外科治療2	歯周外科手術の目的、分類 歯周外科手術後の治療、用いる器材	川浪雅光
9	歯周外科治療3 歯周治療としての リハビリテーション	根分岐部病変の治療、歯周・歯内病変の治療 咬合調整、矯正治療、固定法	川浪雅光
10	メンテナンス 歯周病学まとめ	サポータティブセラピーの内容、リコール間隔 歯周治療の進め方の具体例	川浪雅光

【科目名】 歯科補綴学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学病院歯科診療センター 義歯補綴科
講師 高山 芳幸

【授業概要】 歯の崩壊と損失の原因とこれに起因あるいは続発する顎口腔領域の障害を学び、歯科補綴治療の果たす役割について、障害の回復と予防という2つの側面から理解する。診療補助歯科補綴治療の種類、特徴、および適応と、歯科補綴治療全体の流れについて理解し、および患者指導を行うための学理を学ぶ。歯科補綴治療における歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の連携を学び、歯科衛生士の果たすべき役割とその重要性について理解する。

【到達目標】

- ・歯科補綴学についてその意義と定義について理解できる。
- ・歯の欠損に伴う口腔内の変化と問題について説明できる。
- ・補綴装置の種類と適応について理解できる。
- ・補綴歯科治療における診査診断について説明ができる。
- ・クラウン、ブリッジ、有床義歯治療の実際について流れを理解できる。
- ・インプラント治療の実際を理解できる。
- ・補綴治療に用いられる器材と用途の理解ができる。
- ・補綴歯科治療における歯科技工の流れを説明できる。
- ・補綴歯科臨床における歯科衛生士の役割を理解できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科補綴治療とは	・歯科補綴学治療の定義、意義、目的、特徴および分類 ・歯科補綴学治療において歯科衛生士が果たすべき役割	高山 芳幸
2	補綴歯科治療の基礎知識	・歯列と咬合に関する基本的用語 ・顎口腔系の機能 ・咬合様式と下顎運動	高山 芳幸
3	歯の欠損に伴う障害と補綴 歯科治療	・歯の欠損に伴う口腔内の変化と諸問題 ・補綴歯科治療に伴う合併症 ・顎関節症	高山 芳幸
4	補綴装置の種類と構造1	・クラウン・ブリッジの分類と構造	高山 芳幸
5	補綴装置の種類と構造2	・全部床義歯と局部床義歯の分類と構造	高山 芳幸
6	補綴装置の種類と構造3	・部分床義歯の構成要素	高山 芳幸

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
7	補綴歯科治療における 検査・診断 クラウン治療の実際	・医療面接 ・口腔内の検査 ・スタディモデルによる検査 ・咬合検査と顎関節の検査 ・クラウンの治療の流れ	高山 芳幸
8	ブリッジ治療の実際	・ブリッジ治療の流れ	高山 芳幸
9	有床義歯治療の実際1	・全部床義歯治療の流れ	高山 芳幸
10	有床義歯治療の実際2 インプラント治療の実際	・部分床義歯治療の流れ ・インプラントとは ・インプラント治療の流れ ・インプラントのメンテナンス	高山 芳幸
11	補綴治療に用いられる 器材1	・切削・研磨用器材	高山 芳幸
12	補綴治療に用いられる 器材2 補綴歯科医療における 歯科技工1	・印象採得用器材 ・咬合採得用器材 ・人工歯 ・クラウン・ブリッジの製作 ・有床義歯の製作	高山 芳幸
13	補綴歯科医療における 歯科技工2 補綴歯科臨床における 歯科衛生士の役割1	・補綴装置の補修 ・検査・診断時の業務 ・クラウン・ブリッジ治療における業務(1)	高山 芳幸
14	補綴歯科臨床における 歯科衛生士の役割2	・クラウン・ブリッジ治療における業務(2) ・有床義歯治療における業務	高山 芳幸
15	補綴歯科臨床における 歯科衛生士の役割3	・患者指導の要点	高山 芳幸

【科目名】 口腔外科学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学病院歯科診療センター 高次口腔医療センター
准教授 石川 誠

【授業概要】 口腔外科領域で扱われる疾患の病態と治療法を理解し、診療の補助、手術器材の滅菌消毒、手指の消毒法について習熟する。

【到達目標】

- ・口腔領域の先天異常と発育異常について、原因、症状、治療法を説明できる。
- ・口腔領域の損傷、機能障害について理解できる。
- ・口腔粘膜疾患について原因、症状、治療法の理解できる。
- ・顎・口腔領域の炎症と嚢胞について理解できる。
- ・顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患の分類、原因、症状、治療法が説明できる。
- ・唾液腺疾患、口腔領域の神経疾患について原因、症状、治療法が説明できる。
- ・口腔外科における滅菌・消毒の意義が理解できる。
- ・口腔外科小手術の内容、使用器材と診療補助についての理解ができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	顎・口腔領域の先天異常 発育異常-1	歯の発育異常 口腔軟組織の先天異常と発育異常	石川 誠
2	顎・口腔領域の先天異常 発育異常-2	口唇裂・口蓋裂 顎の先天異常と発育異常	石川 誠
3	顎・口腔領域の損傷および 機能障害	軟組織の損傷 歯および歯槽の外傷・顎骨骨折	石川 誠
4	口腔粘膜の病変-1	水泡形成を主徴とする疾患 紅斑およびびらんを主徴とする疾患 潰瘍を主徴とする疾患 白斑を主徴とする疾患 色素沈着を主徴とする疾患	石川 誠
5	口腔粘膜の病変-2	粘膜の萎縮を主徴とする疾患 口腔の乾燥を主徴とする疾患 粘膜の出血および貧血を主徴とする疾患 その他の異常および疾患	石川 誠
6	顎・口腔領域の 化膿性疾患	歯周組織の炎症 顎骨と顎骨周囲組織の炎症	石川 誠
7	顎・口腔領域の 嚢胞性疾患	顎骨に発生する嚢胞 軟組織に発生する嚢胞	石川 誠

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
8	顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患	歯源性腫瘍と非歯源性腫瘍 悪性腫瘍 前癌病変 腫瘍類似疾患	石川 誠
9	唾液腺疾患	炎症性唾液性疾患 唾石症 唾液分泌異常 唾液腺腫瘍	石川 誠
10	口腔領域の神経疾患	顎口腔の知覚神経と運動神経 神経痛と神経麻痺 神経痙攣	石川 誠
11	滅菌と消毒	口腔外科における滅菌と消毒の意義 手術器材の滅菌と消毒 手指の消毒 手術野の消毒	石川 誠
12	創傷の処置	創傷の治癒過程 手術の基本手技	石川 誠
13	口腔外科小手術-1	消炎手術 抜歯術	石川 誠
14	口腔外科小手術-2	嚢胞摘出術 歯根端切除術 良性腫瘍摘出術 歯槽骨整形術 小帯伸展術	石川 誠
15	口腔外科小手術-3	外傷の処置 口腔インプラント術 まとめ	石川 誠

【科目名】 小児歯科学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部口腔構造・機能発育学系 小児歯科学分野
任期制助手 榊原 さや夏

【授業概要】 小児の口腔領域の健康を維持・増進させるための健康管理、健全な顎口腔機能を育成するための理論と方法と歯科衛生士としての役割を学ぶ。

【到達目標】

- ・小児歯科の目的を説明することができる。
- ・小児の発育段階とその時期の口腔の変化を説明できる。
- ・乳歯と幼若永久歯の乳歯と幼若永久歯の形態的特徴ならびにう蝕の特徴を説明できる。
- ・補綴歯科治療における診査診断について説明ができる。
- ・成人歯科と小児歯科の違いから治療時の小児への対応の理解ができる。
- ・小児の対応法の種類と要点について説明できる。
- ・小児歯科診療における診療体系と流れを理解できる。
- ・小児歯科におけるう蝕予防について理解ができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「小児歯科」
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	小児歯科概論	ガイダンス・小児歯科学の意義・目的 小児歯科診療の流れと特徴 小児歯科診療と歯科衛生士	榊原 さや夏
2	心身の発達1	小児期の身体の発育	榊原 さや夏
3	心身の発達2	小児の精神発達	榊原 さや夏
4	頭部・顎顔面の発育	小児の顎・顔面・頭蓋の成長発育	榊原 さや夏
5	歯の発育	一般的な歯の発育 乳歯・幼若永久歯の特徴	榊原 さや夏
6	歯列および咬合の発育	成長発育段階・生理的歯間空隙 乳歯、混合歯列の特徴 ターミナルプレーン・第一大臼歯の萌出	榊原 さや夏
7	小児患者の対応法	小児の情緒発達 行動調整	榊原 さや夏
8	小児患者の診療方針	治療計画の立案 母親教室の必要性 リコールシステムの意義	榊原 さや夏

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
9	歯科診療における 診療補助	フォーハンデッドデンティストリーの基本とチェアポジション 小児歯科での麻酔法 小児歯科でのラバーダム防湿法	榊原 さや夏
10	歯科診療における 診療補助	小児の歯冠修復時の診療補助	榊原 さや夏
11	歯科診療における 診療補助	小児の歯内療法時での診療補助	榊原 さや夏
12	歯科診療における 診療補助	障害児の歯科治療における健常児との違い 障害児の歯科治療に用いる器材と用途	榊原 さや夏
13	歯科診療における 診療補助	咬合誘導の補助 保隙装置の目的と種類	榊原 さや夏
14	小児におけるう蝕予防	乳歯齲蝕の罹患状況・年次的推移・地域差・環境差 乳歯齲蝕の特徴と好発部位	榊原 さや夏
15	小児におけるう蝕予防	乳歯齲蝕の原因・プラークコントロール・フッ化物の応用 小窩裂溝填塞法の有効性 食生活指導の概略	榊原 さや夏

【科目名】 歯科矯正学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学病院歯科診療センター 咬合系歯科
客員臨床歯科医師 竹縄 智紘

【授業概要】 歯科矯正学の意義と定義を正しく理解し、頭蓋顎顔面や歯列の成長発育、咬合に関する基礎的な知識を身につける。
不正咬合の定義、原因、さらには予防法に関する専門的な知識を身につける。
歯科矯正治療における検査、診断、治療に際しての流れと他科の関連も踏まえて理解し、同時に歯科衛生士としての役割を積極的に理解する。

【到達目標】

- ・歯科補綴学についてその意義と定義について理解できる。
- ・歯の欠損に伴う口腔内の変化と問題について説明できる。
- ・補綴装置の種類と適応について理解できる。
- ・補綴歯科治療における診査診断について説明ができる。
- ・クラウン、ブリッジ、有床義歯治療の実際について流れを理解できる。
- ・インプラント治療の実際を理解できる。
- ・補綴治療に用いられる器材と用途の理解ができる。
- ・補綴歯科治療における歯科技工の流れを説明できる。
- ・補綴歯科臨床における歯科衛生士の役割を理解できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科矯正学概論	・歯科矯正治療の変遷、定義、目的およびその必要性について	竹縄 智紘
2	成長・発育	・身体・頭蓋・歯・歯列の成長発育について	竹縄 智紘
3	咬合 1	・咬合に関する概論および正常咬合について	竹縄 智紘
4	咬合 2	・不正咬合の分類、頻度、原因、予防について	竹縄 智紘
5	矯正歯科診断	・矯正歯科治療における検査、評価、分析方法について	竹縄 智紘
6	矯正歯科治療と力 1	・矯正力、歯の移動と組織反応について	竹縄 智紘
7	矯正歯科治療と力 2	・歯の移動様式、保定について	竹縄 智紘
8	矯正装置 1	・可撤式・固定式・機能的装置について	竹縄 智紘
9	矯正装置 2	・拡大装置・顎外固定装置・習癖除去装置・保定装置について	竹縄 智紘

回	授業項目	授業内容	担当者
10	矯正歯科治療の実際 1	・ ・ ・ 級、過蓋咬合、開咬、成人矯正の治療について	竹縄 智紘
11	矯正歯科治療の実際 2	・ 顎顔面の形態異常、歯数異常の治療 ・ 治療時のトラブル対応、健康保険適応の矯正治療について	竹縄 智紘
12	矯正歯科治療における 歯科衛生士の役割 1	・ 矯正治療診断にかかわる業務 ・ 矯正歯科診療時の業務について	竹縄 智紘
13	矯正歯科治療における 歯科衛生士の役割 2	・ 矯正歯科患者と口腔保健管理、口腔筋機能療法(MFT) ・ 器材、資料、文章の管理について	竹縄 智紘
14	矯正学まとめ 1	・ まとめの講義内容の復習と問題演習	竹縄 智紘
15	矯正学まとめ 2	・ まとめの講義内容の復習と問題演習	竹縄 智紘

【科目名】 歯科予防処置

【年次・開講期】 1年次 前期・後期

【時間】 130時間

【単位】 4単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 飯塚 貴子

【授業概要】 歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技能、態度を修得し、その概要について学ぶ。

【到達目標】

- ・健康な歯の構造や歯周組織などの基礎知識を学び、予防的歯石除去に使用する器具の名称、構造について基本的取り扱い方法を理解できる。
- ・術者、患者のポジションを理解し、部位に合わせ設定できる。
- ・模型上で正しいスクレーピングができる。
- ・シャープニングの目的や砥石の種類を把握し、スクレーパーのシャープニング方法を身につける。
- ・プローピングの目的、種類、測定方法、測定結果の記入方法を理解し、プローピング値を正確に読み取ることができる。
- ・歯科治療における偶発事故の原因、予防、対策、対処方法を理解できる。
- ・歯面研磨の目的、使用器材の用途、取り扱い方法を理解し、正しい操作ができる。
- ・PMTCの目的、使用器材の用途、取り扱い方法を理解し、正しい操作ができる。
- ・歯面清掃器の目的、使用器材の用途、取り扱い方法を理解し、正しい操作ができる。
- ・超音波スクレーパー、エアスクレーパーの特徴を理解し、正しい角度とストロークで操作できる。
- ・模型上での基礎実習を活かし、実際の口腔内で予防処置を行うことができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版

【参考書】 最新歯科衛生士教本 「歯周病学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
最新歯科衛生士教本 「保健生態学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版

【評価方法】 定期試験

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科予防処置論の概要 予防的歯石除去の概要	・歯科予防処置の定義 ・マネキンの取り扱い ・マキシラアングル、ヘッドローテーション、術者ポジション ・術者の姿勢とマネキンの高さ	飯塚 貴子
2	予防的歯石除去の概要	口腔の基礎知識 ・正常な口腔 ・歯周組織	飯塚 貴子
3	予防的歯石除去の概要	口腔の基礎知識 ・歯冠と歯根の形態	飯塚 貴子
4	予防的歯石除去の概要	口腔の基礎知識 ・口腔の機能	飯塚 貴子

回	授業項目	授業内容	担当者
5	齲蝕と歯周病の基礎知識概要	口腔内の付着物・沈着物 ・ペリクル ・マテリアアルバ ・食物残渣 ・プラーク	飯塚 貴子
6	齲蝕と歯周病の基礎知識	口腔内の付着物・沈着物 ・歯石 ・色素沈着	飯塚 貴子
7	齲蝕と歯周病の基礎知識	齲蝕 ・齲蝕とは ・齲蝕の分類 ・齲蝕の原因	飯塚 貴子
8	齲蝕と歯周の基礎知識	歯周病 ・歯周病とは ・歯周病の分類 ・歯肉炎と歯周炎の臨床的特徴 ・歯肉炎と歯周炎の進行プロセス ・歯周病の起炎性因子	飯塚 貴子
9	予防的歯石除去の基礎知識	・予防的歯石除去と歯科診療の歯石除去 ・歯肉縁上プラークと歯肉縁下プラーク ・歯肉縁上歯石と歯肉縁下歯石 ・歯石除去の手順	飯塚 貴子
10	手用スケーラーの基礎知識	・歯石除去に用いられる器材 ・歯周診査用器材 ・手用スケーラー(構成・種類) ・使用目的、刃部・頸部の特徴	飯塚 貴子
11	手用スケーラーによる基礎実習	・執筆状変法把持法、4指固定	飯塚 貴子
12	手用スケーラーによる基礎実習	・前腕回転運動、手根関節運動、手指屈伸運動 ・探針操作	飯塚 貴子
13	手用スケーラーによる基礎実習	・シッケルタイプスケーラー操作 ・ミラー操作	飯塚 貴子
14	マネキン実習の基礎	・マネキンの取り扱い ・マキシラアングル、ヘッドローテーション・術者ポジション	飯塚 貴子
15	シッケルタイプスケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
16	シッケルタイプスケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
17	シッケルタイプスケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
18	シッケルタイプスケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
19	シッケルタイプスケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子

回	授業項目	授業内容	担当者
20	シックルタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
21	シックルタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
22	シックルタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
23	シックルタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
24	シャープニング実習	・目的、使用器具、器材、方法について (シックルタイプスケーラー)	飯塚 貴子
25	ブローピング	・目的、時期、測定法、測定方法、注意事項 ・アタッチメントレベル ・付着歯肉幅の測定	飯塚 貴子
26	シックルタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	飯塚 貴子
27	シックルタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	飯塚 貴子
28	シックルタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	飯塚 貴子
29	シックルタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	飯塚 貴子
30	シックルタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	飯塚 貴子
31	シックルタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	飯塚 貴子
32	キュレットタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
33	キュレットタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
34	キュレットタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
35	キュレットタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
36	キュレットタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
37	キュレットタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子

回	授業項目	授業内容	担当者
38	キュレットタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
39	キュレットタイプ スケーラー部位別	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	飯塚 貴子
40	シャープニング実習	・目的、使用器具、器材、方法について (キュレットタイプスケーラー)	飯塚 貴子
41	キュレットタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	飯塚 貴子
42	キュレットタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	飯塚 貴子
43	キュレットタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	飯塚 貴子
44	キュレットタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	飯塚 貴子
45	キュレットタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	飯塚 貴子
46	キュレットタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	飯塚 貴子
47	歯面研磨	・目的、使用器材、使用方法 ・PMTCについて ・マネキン実習	飯塚 貴子
48	歯面研磨	・マネキン実習	飯塚 貴子
49	感染予防	・偶発事故と予防・対策について	飯塚 貴子
50	相互実習事前練習	・口腔内診査の方法と歯式の記入方法	飯塚 貴子
51	相互実習事前練習	・マネキンにて口腔内診査、フローピング、歯面研磨	飯塚 貴子
52	相互実習	・口腔内診査、フローピング、歯面研磨	飯塚 貴子
53	相互実習	・口腔内診査、フローピング、歯面研磨	飯塚 貴子
54	相互実習	・口腔内診査、フローピング、歯面研磨	飯塚 貴子
55	相互実習	・口腔内診査、フローピング、歯面研磨	飯塚 貴子
56	齲蝕予防処置の 基礎知識	・フッ化物局所塗布、フッ化ジアンミン銀、小窩裂溝填塞の作用 機序、応用時期、注意事項について	飯塚 貴子
57	歯面清掃器	・エアフローの使用目的、使用方法	飯塚 貴子
58	歯面清掃器	・マネキンを使用して部位別操作を行う	飯塚 貴子
59	超音波スケーラー、 エアスケーラー	・利点、欠点、適応症、禁忌症 ・使用目的 ・ユニット内蔵と外付けの取り扱い ・マネキン実習	飯塚 貴子
60	相互実習事前練習	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	飯塚 貴子
61	相互実習	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	飯塚 貴子
62	相互実習	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	飯塚 貴子

回	授業項目	授業内容	担当者
63	相互実習	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	飯塚 貴子
64	相互実習	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	飯塚 貴子
65	試験対策	・定期試験範囲を確認し、要点を整理する	飯塚 貴子

【科目名】 歯科保健指導

【年次・開講期】 1年次 前期・後期

【時間】 90時間

【単位】 2単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 市川 智恵

【授業概要】 歯科衛生士業務の1つである歯科保健指導の意義や口腔の健康を保つ為の基本的な手技を理解し、全てのライフステージにおける対象者の特徴を理解し、対応する能力を身につける。

【到達目標】

- ・健康、予防の概念を述べることができる。
- ・歯科保健指導に必要な行動変容要素を理解する。
- ・食生活指導の基本事項を理解する。
- ・口腔清掃に必要な器材・方法を理解する。
- ・歯科衛生過程の概要を理解する。
- ・歯科衛生アセスメントのための情報収集を理解する。
- ・ライフステージにおける一般的特徴・口腔の特徴を理解する。
- ・ライフステージにおける歯科衛生介入に必要な事項を理解する。
- ・喫煙者に対する指導の基礎知識を理解する。
- ・口腔内の軟組織、硬組織の構造と名称を一致させることができる。
- ・歯垢、歯石を観察することができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版

【参考書】 「歯ブラシ事典」 医歯薬出版株式会社
「歯磨剤の科学」 日本歯磨工業会

【評価方法】 授業態度、出席状況、レポート提出、定期試験

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科保健指導論の概要	1. 歯科保健指導で学ぶこと 2. 健康とは 3. 予防の概念	市川 智恵
2	歯科保健指導実施のための基礎知識1	1. 行動変容要素とステップ 1) 行動変容に関連する理論 a. 自己効力感 b. 変化のステージモデル	市川 智恵
3	歯科保健指導実施のための基礎知識2	2. 食生活指導の基礎 1) 食生活および食習慣の把握 a. 近年の食生活の特徴と問題点 b. 食品と齲蝕誘発性 c. 咀嚼と食品	市川 智恵
4	歯科衛生介入のための歯科保健指導1	1. 口腔清掃方法 1) 歯ブラシ	市川 智恵
5	歯科衛生介入のための歯科保健指導2	1. 口腔清掃方法 2) 歯磨剤	市川 智恵

回	授業項目	授業内容	担当者
6	歯科衛生介入のための 歯科保健指導3	1. 口腔清掃方法 3) ブラッシング方法 a. 毛先を使った方法	市川 智恵
7	歯科衛生介入のための 歯科保健指導4	1. 口腔清掃方法 3) ブラッシング方法 a. 毛先を使った方法	市川 智恵
8	歯科衛生介入のための 歯科保健指導5	1. 口腔清掃方法 3) ブラッシング方法 b. 脇腹を使った方法	市川 智恵
9	歯科衛生介入のための 歯科保健指導6	1. 口腔清掃方法 3) ブラッシング方法 b. 脇腹を使った方法	市川 智恵
10	歯科衛生介入のための 歯科保健指導7	1. 口腔清掃方法 4) 歯間部のケアについて 5) デンタルフロスの使い方	市川 智恵
11	歯科衛生介入のための 歯科保健指導8	1. 口腔清掃方法 6) 歯間ブラシの使い方 7) タフトブラシの使い方	市川 智恵
12	歯科衛生介入のための 歯科保健指導9	1. 口腔清掃方法 8) 舌ブラシの使い方 9) スポンジブラシの使い方	市川 智恵
13	歯科衛生過程の進め方1	1. 歯科衛生過程の概要 1) 6つの構成要素 2) 歯科衛生アセスメント 3) 歯科衛生診断	市川 智恵
14	歯科衛生過程の進め方2	1. 歯科衛生過程の概要 4) 歯科衛生計画立案 5) 歯科衛生介入 6) 歯科衛生評価	市川 智恵
15	歯科衛生アセスメントの ための情報収集1	1. 患者からの情報収集 1) 主観的情報 2) 医療面接	市川 智恵
16	歯科衛生アセスメントの ための情報収集2	2. 口腔内の情報収集 1) 客観的情報 2) 口腔内の観察	市川 智恵
17	歯科衛生アセスメントの ための情報収集3	2. 口腔内の情報収集 3) 唾液検査	市川 智恵
18	歯科衛生アセスメントの ための情報収集4	3. 分析のためのデータ 1) プラーク・歯石の指数	市川 智恵
19	歯科衛生アセスメントの ための情報収集5	3. 分析のためのデータ 1) プラーク・歯石の指数	市川 智恵
20	歯科衛生アセスメントの ための情報収集6	3. 分析のためのデータ 1) プラーク・歯石の指数 a. 口腔内観察・演習	市川 智恵

回	授業項目	授業内容	担当者
21	歯科衛生アセスメントのための情報収集7	3. 分析のためのデータ 1) プラーク・歯石の指数 b. 歯垢染色・演習	市川 智恵
22	歯科衛生アセスメントのための情報収集8	3. 分析のためのデータ 2) 歯周疾患の指数	市川 智恵
23	歯科衛生アセスメントのための情報収集9	3. 分析のためのデータ 2) 歯周疾患の指数	市川 智恵
24	歯科衛生アセスメントのための情報収集10	4. 症例検討実習 1) 歯科衛生過程の展開例	市川 智恵
25	歯科衛生アセスメントのための情報収集11	4. 症例検討実習 2) グループワーク	市川 智恵
26	歯科衛生アセスメントのための情報収集12	4. 症例検討実習 2) グループワーク	市川 智恵
27	歯科衛生アセスメントのための情報収集13	4. 症例検討実習 3) グループワーク発表、まとめ	市川 智恵
28	食生活指導法1	1. 食生活指導の進め方 1) 歯科における食生活指導の重要性	市川 智恵
29	食生活指導法2	1. 食生活指導の進め方 2) 食生活把握法	市川 智恵
30	食生活指導法3	1. 食生活指導の進め方 3) シュガーコントロール	市川 智恵
31	ライフステージにおける歯科衛生介入1	1. 妊産婦期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	市川 智恵
32	ライフステージにおける歯科衛生介入2	2. 新生児期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	市川 智恵
33	ライフステージにおける歯科衛生介入3	3. 乳児期 1) 一般的・口腔の特徴	市川 智恵
34	ライフステージにおける歯科衛生介入4	3. 乳児期 2) 口腔の発達	市川 智恵
35	ライフステージにおける歯科衛生介入5	3. 乳児期 3) 食生活の特徴と栄養 4) 離乳食の進め方	市川 智恵
36	ライフステージにおける歯科衛生介入6	4. 幼児期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 口腔の発達 3) 食生活の特徴と栄養	市川 智恵
37	ライフステージにおける歯科衛生介入7	5. 学齢期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	市川 智恵
38	ライフステージにおける歯科衛生介入8	5. 学齢期 3) 学校歯科保健について	市川 智恵

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
39	ライフステージにおける 歯科衛生介入9	6. 青年期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	市川 智恵
40	ライフステージにおける 歯科衛生介入10	7. 成人期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	市川 智恵
41	ライフステージにおける 歯科衛生介入11	8. 老年期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	市川 智恵
42	ライフステージにおける 歯科衛生介入12	8. 老年期 3) 義歯の取扱い・清掃 4) 高齢者疑似体験	市川 智恵
43	喫煙者に対する指導	1. 喫煙状況のアセスメント 2. 喫煙と歯周疾患 3. 喫煙支援のポイント	市川 智恵
44	演習1	口腔内観察実習	市川 智恵
45	演習2	術者磨き実習	市川 智恵

【科目名】 障害者歯科

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 小児歯科学分野
教授 福田 敦史

【授業概要】 障害のある人に対する歯科保健を実践するために、その身体的、精神的および心理的特徴と歯科治療および口腔衛生管理上の留意点を理解する。
1)健康、疾病と障害の概念
2)障害者の歯科治療上の注意点
3)障害者の歯科保健・口腔衛生管理

【到達目標】 ・障害の概念を説明できる。
・疾患と各種障害の関連づけができる。
・障害がある人への対応と口腔の特徴を理解できる。
・障害者の歯科医療と行動調整について歯科衛生士の役割が理解できる。
・障害がある人の口腔ケアを説明できる。
・専門的口腔ケアの理解ができる。
・摂食嚥下リハビリテーションの意義と流れについて説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「障害者歯科」第2版
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	オリエンテーション 1章 障害の概念 2章 歯科治療で特別な支援が必要な疾患	・障害の概念、分類(ICIDH,ICF) ・障害者への理解 ・ノーマライゼーションとバリアフリー ・精神発達・心理的発達と行動障害 精神遅滞、広汎性発達障害	福田 敦史
2	2章 歯科治療で特別な支援が必要な疾患	・運動障害・感覚障害 脳性麻痺・筋ジストロフィー	福田 敦史
3	2章 歯科治療で特別な支援が必要な疾患 3章 障害の歯科医療と行動調整	・精神および行動の障害 ・その他の障害 ・行動変容法 行動療法、体動のコントロール	福田 敦史
4	4章 健康支援と口腔衛生管理	・専門的口腔ケア 器質的口腔ケア、機能的口腔ケア	福田 敦史
5	5章 摂食嚥下リハビリテーションと歯科衛生士の役割	・摂食嚥下リハビリテーションとは 摂食5期、スクリーニングテスト、精密検査 ・試験対策	福田 敦史

【科目名】 高齢者歯科

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 咬合再建補綴学分野
准教授 豊下 祥史

【授業概要】 高齢者の生活の質の向上に貢献するために、高齢者の身体的、精神的および心理的特徴を理解し、口腔機能の維持や回復に必要な歯科医学的知識と技能・態度を習得する。

【到達目標】

- ・高齢者を見るという視点を持つことができる。
- ・高齢社会とは何か説明できる。
- ・高齢者の身体機能の老化について説明できる。
- ・高齢者の精神・心理的变化が理解できる。
- ・高齢者生活機能についての評価法がわかる。
- ・高齢者の薬剤服用に対する反応について理解できる。
- ・摂食嚥下リハビリテーションの意義と流れについて説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「高齢者歯科」第2版 医歯薬出版
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	高齢者を取りまく 社会と環境	高齢者の現状や特性、介護保険制度や要介護高齢者を取り巻く環境を知ることにより、歯科医療の果たす役割について学習する。	豊下 祥史
2	加齢による 身体的・精神的变化	高齢者の加齢による身体的および精神的変化と高齢者に多い基礎疾患や口腔の疾患について学習する。	豊下 祥史
3	高齢者の状態の把握	高齢者の生活機能や栄養状態の評価方法および服薬による影響について学習する。	豊下 祥史
4	口腔のケア	高齢者、有病高齢者および要介護高齢者の口腔のケアの方法とその意義について学習する。	豊下 祥史
5	摂食嚥下リハビリテーション 高齢者に係わる 医療と介護	摂食嚥下機能の評価と対応およびその意義について学習する。 在宅医療と歯科衛生士の役割について学習する。	豊下 祥史

【科目名】 歯科診療補助

【年次・開講期】 1年次 前期・後期

【時間】 90時間

【単位】 2単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 市川 智恵
専任教員 飯塚 貴子

【授業概要】 歯科診療補助は社会的情勢や歯科医療の高度化にともなって歯科衛生士としての専門性を多く発揮できる領域であるため、歯科衛生士の役割を理解し、歯科材料や歯科器械の取り扱いができる。

【到達目標】

- ・衛生材料の作製手順や作り方を習得できる。
- ・手指消毒の意義を理解し、各種手洗いの手順を確実に学ぶことができる。
- ・歯科用ユニットの各部名称、取扱いを理解できる。
- ・歯科診療室で用いられる薬物について知識を理解できる。
- ・器具の滅菌・消毒の利点・欠点・特徴について学ぶことができる。
- ・アルジネート印象材の主成分、特徴、用途、練和法、印象採得の手順も理解できる。
- ・歯科用石膏の種類と用途や性状について学ぶことができる。
- ・寒天印象材を用いて印象採得前の恒温槽の準備、使用器材の名称、用途、取扱い上の注意点等を示説により習得できる。
- ・各種合着材、接着材の種類、主成分、特徴、用途、硬化反応、粉液比について理解できる。
- ・仮封の目的、方法を学ぶことができる。
- ・歯髄処置、根管治療、根管充填の各処置別の器具の名称、用途、特徴等を習得できる。
- ・コンポジットレジン組成、種類、適応症、取扱い法について理解できる。
- ・共同動作を行うにあたり術者、介助者の位置や姿勢など基本的知識を習得できる。
- ・各補綴物の特性を理解し、診療ごとの補助、介助の方法について学ぶことができる。
- ・抜歯の器具・器材・術式を理解できる。
- ・矯正治療用器具の特徴や取り扱いについて理解し、補助内容、術式と関連づけて整理できる。
- ・ゴム質印象材の性質と取扱い方法を習得できる。
- ・X線撮影の補助ができるように撮影から現像までに使用する器具や材料の準備ができる。
- ・共同操作について相互実習をとおして実践する。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 医歯薬出版
(新)歯科衛生士教本「歯科器械の知識と取扱い」 医歯薬出版
新人歯科衛生士・デンタルスタッフポケットマニュアル 医歯薬出版
最新歯科衛生士教本「歯・歯髄疾患 保存修復学・歯内療法学」 医歯薬出版
最新歯科衛生士教本「咀嚼異常・咬合異常1 歯科補綴学」 医歯薬出版
最新歯科衛生士教本「歯科放射線」 医歯薬出版
最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常 歯科矯正」 医歯薬出版
最新歯科衛生士教本
「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科学・歯科麻酔学」 医歯薬出版

【参考書】 資料プリント

【評価方法】 定期試験

【授業方法】 講義・実習・実験

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	・総論	・歯科診療補助の概要 ・歯科衛生士とは	市川 智恵 飯塚 貴子

回	授業項目	授業内容	担当者
2	・衛生材料取扱い 綿球・ロールワッテ カット綿	・綿花の取り扱い 1)綿花断裁、たたみ綿花作製 2)綿球、ロールワッテ作製	市川 智恵 飯塚 貴子
3	・衛生材料取扱い 綿球・ロールワッテ カット綿	・綿花の取り扱い 1)綿花断裁、たたみ綿花作製 2)綿球、ロールワッテ作製	市川 智恵 飯塚 貴子
4	・医療安全と感染予防	・手指消毒 (感染防止の基本である手洗いの必)	市川 智恵 飯塚 貴子
5	・医療安全と感染予防	・医療安全	市川 智恵 飯塚 貴子
6	・歯科用ユニットについて ・薬品・歯科材料の管理	・診療室の環境整備 ・歯科ユニット各部の名称と使用時の注意点	市川 智恵 飯塚 貴子
7	・消毒・滅菌	・寒天培地の観察	市川 智恵 飯塚 貴子
8	・医療安全と感染予防	・感染予防対策と滅菌・消毒	市川 智恵 飯塚 貴子
9	・アルジネート印象材	・印象材の基本的な取扱いについて学ぶ	市川 智恵 飯塚 貴子
10	・アルジネート印象材	・印象材の基本的な取扱いについて学ぶ	市川 智恵 飯塚 貴子
11	・アルジネート印象材	・印象材練和実習	市川 智恵 飯塚 貴子
12	・模型材料	・歯科用石膏の種類と用途	市川 智恵 飯塚 貴子
13	・模型材料	・歯科用石膏の種類と用途	市川 智恵 飯塚 貴子
14	・模型材料	・模型作製	市川 智恵 飯塚 貴子
15	・模型材料	・模型作製	市川 智恵 飯塚 貴子
16	・寒天印象材	・寒天印象材の基礎知識	市川 智恵 飯塚 貴子
17	・寒天印象材	・連合印象材の流れを理解する	市川 智恵 飯塚 貴子
18	・寒天印象材	・模型作製	市川 智恵 飯塚 貴子
19	保存材料 ・合着材・接着	・各種合着用セメントの性質と取扱い方法を知る	市川 智恵 飯塚 貴子
20	保存材料 ・合着材・接着	・ガラスアイオノマーセメント・カルボキシレートセメント ・リン酸亜鉛セメント	市川 智恵 飯塚 貴子
21	保存材料 ・合着材・接着	・ガラスアイオノマーセメント・カルボキシレートセメント ・リン酸亜鉛セメント	市川 智恵 飯塚 貴子
22	保存材料 ・仮着材	・仮着材の性質と取扱いを知る	市川 智恵 飯塚 貴子
23	・仮封材	・仮封材の性質と取扱い方法を知り実践する	市川 智恵 飯塚 貴子
24	・仮封材	・ストップングの取扱いを会得させる ・酸化亜鉛ユージオールセメントの取扱いを知る	市川 智恵 飯塚 貴子
25	保存器材 ・保存・修復	・麻酔抜髄と感染根管治療の術式と使用器具について	市川 智恵 飯塚 貴子
26	保存器材 ・歯内・修復用レジン	・CR充填の目的と術式、留意点を知り実践	市川 智恵 飯塚 貴子
27	共同動作 (講義)	・歯科診療所における共同動作の目的を知る	市川 智恵 飯塚 貴子
28	共同動作 ・患者誘導・ライティング	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する	市川 智恵 飯塚 貴子

回	授業項目	授業内容	担当者
29	共同動作 ・器具受け渡し	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する ・患者誘導の留意点を知り、実践する	市川 智恵 飯塚 貴子
30	共同動作 ・口腔内洗浄・バキューム	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する ・患者誘導の留意点を知り、実践する	市川 智恵 飯塚 貴子
31	補綴器械	・器械・器具の取り扱い ・鉗子	市川 智恵 飯塚 貴子
32	補綴器械	・WAX ・咬合器	市川 智恵 飯塚 貴子
33	口外器械 ・普通抜歯・困難抜歯	・普通抜歯・難抜歯の違い	市川 智恵 飯塚 貴子
34	口外器械 ・普通抜歯・困難抜歯	・抜歯の際に使用する器具・器材について ・カートリッジ・メス・持針器取扱い	市川 智恵 飯塚 貴子
35	矯正器械	・矯正用プライヤーの名称と用途を知る ・その他の器具の名称と用途を知る	市川 智恵 飯塚 貴子
36	ゴム質印象材	・ゴム質印象材の性質と取扱い方法を習得する	市川 智恵 飯塚 貴子
37	ゴム質印象材	・ゴム質印象材の性質と取扱い方法を習得する ・マネキン印象	市川 智恵 飯塚 貴子
38	X線現像実習	・現像の実際 ・撮影済みフィルムの管理	市川 智恵 飯塚 貴子
39	滅菌・消毒 安全管理	・歯科器材の滅菌法 ・安全管理対策	市川 智恵 飯塚 貴子
40) 45	相互実習	・共同操作について相互実習をとおして実践する ・寒天印象材とアルジネート印象材を使用した連合印象	市川 智恵 飯塚 貴子